

道消協ニュース

No.7

発行責任者
道消協会長
編集責任者
道消協事務局次長

鎌田 常孝
菅原 宏仙

青年・女性研修会

2月20日、2012年度道消協青年・女性研修会が自治労会館4階ホールにて37単協86名、道消協役員7名、自治労道本部5名、自治労北海道青年部6名、未組織職場2名、合計106名が参加し盛大に開催された。

冒頭、鎌田会長、自治労北海道本部藤盛副執行委員長より、国家公務員制度改革の現況報告、並びに給与削減、人勧制度について、参加者に理解できる丁寧な説明がなされた。



鎌田会長



藤盛副執行委員長

第1講座

「労働組合と自治労青年部の活動について」と題して自治労北海道本部牧野長武青年部長が講演された。その中で働く者の視点で考えよう！！例えば「使用者側は遅刻をしたら時間を厳守しなさいと指導するが、サービス残業をしても時間を厳守しなさいとは言わない。」矛盾を指摘し参加者からは「んーなるほど」そのとおりで納得していた。



牧野青年部長



第2講座

「団結権回復における諸課題について」9グループを編成し、自治労青年部もオブザーバーとして参加、未組織職場職員もグループ討議に参加して実施。課題「1. 団結権回復により消防職場の関係は崩れるか?」「2. 貴方なら組合、単協の役員になりますか?」「3. これからの協議会活動に何が必要だと感じますか?」「4. 団結権回復後の不安はありませんか?」以上4テーマについて各グループ討議を行い、各所属の現況を報告、各々の考えを討議した。「団結権のあり方検討会」で指摘されていた上司と部下の関係、指揮命令系統の統制がとれない等々の意見が報告されていたが、殆どの参加者からはそのようなことは起きないとの意見が多く使用者側と労働者側のギャップが浮き彫りとなった。各テーマについて討議されたものを次にまとめた。

Q1 「団結権回復により、消防職場の信頼関係は崩れるか?」



A ・崩れないとの意見が大半を占める。

- ・団結権回復を良く思っていない人は必ずいる。
- ・信頼関係が築けていないところは崩れようがない。
- ・消防業務の最終目的は一緒だから崩れない。
- ・上司も協議会経験者なので理解が得られる。
- ・信頼関係は人間関係の問題であり回復する事が影響するとは思えない。

Q2 「あなたなら組合・協議会の役員になりますか?」

A ・知識経験不足で出来ない。

- ・何をやればいいのか解らない。
- ・職場の環境を改善できるからやりたい。
- ・輪番制でやっている。
- ・役員になりたい。関わりを持ちたい。
- ・自分のためになるのでやった方が良い



Q3 「これからの協議会活動に何が必要だと感じますか?」

A ・協議会活動の内容、目的が周知されていない。

- ・意見を言える環境整備。
- ・後輩の指導、育成。
- ・学習会、研修会を開催し参加率を上げる。
- ・地域貢献。ボランティア等で奉仕活動をする。
- ・会員の無関心の改善。
- ・お酒を飲んでるだけの様に感じるから改善が必要。

次号No.8へつづく……